

全会一致で決算

平成25年度に行った主な事業

子育て支援拠点施設整備事業	3667万円
戦略的園芸産地拡大支援事業	1500万円
町民保養センター屋根改修事業	1991万円
町道安全対策事業	7356万円
道路改良事業（赤坂深山線）	8260万円
ふるさと森林公園テニスコート改修事業	4300万円
すまいる！四季の郷定住促進事業	1232万円
急傾斜地崩壊対策事業	3536万円
Jアラートシステム整備事業	3234万円
学校再編整備事業（統合中学校）	2億9628万円
白鷹スキー場ペアリフト改修工事	4600万円

※万円未満は端数を整理しています。



完成した赤坂深山線（深山地内）

どうなる？まちの財政力

区分・年度	25年度	24年度	23年度	説明
財政力指数	0.251	0.244	0.247	高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。
経常収支比率	88.8	92.5	90.3	低いほど独自の政策のために使えるお金が多い。
実質公債費比率	12.0	13.5	15.3	収入に対する負債返済の割合

監査意見書

財政状況において、経常収支比率が88・8%と改善した。しかしながら地方交付税や地方譲与税、国・県支出金等に依存している本町においては国・県の影響を受け易く情報を迅速かつ的確に収集し財政運営を行っていただきたい。

豪雨災害により白鷹町においても甚大な被害を受けたが自主防災組織と消防団の献身的な活動、災害本部からの対

策や災害の対応がなされ、犠牲者を出すことなく最小限の被害に留めることができたことに感謝するとともに、これらの復旧工事については、慎重かつ安全に、そして早期復旧に努めていただきたい。

主要事業であるコミュニティセンター構想推進事業が実施され、「共創のまちづくり」の理念のもとに、平成27年度から地区公民館がコミュニティセンターとなるが、地域関係者と連携を密にしなが、広く町民の理解を得るべく推進に努めていただきたい。

「笑顔かがやき、心かよう美しいまち」の実現に向け、職員自ら目的意識を持って行動し、町民の目線に立った事業遂行を望む。

代表監査委員 小形 安弘
監査委員 守谷 丹吾